大正九年十二月十四日第三種郵便物認可
新京日日新聞
夕刊　十月廿三日（月）

『ユダヤ人の陳情受付所に』
聯盟脱退に際し獨政府こき卸す

〔ベルリン廿日發國通〕ドイツ政府は十九日正式に國際聯盟脱退を聯盟事務局に通告したが右に關し二十日政府當局者は非公式に全ドイツに向つて聯盟脱退理由を説明し同時に聯盟を左の如くこき卸した
今や聯盟は反ファッシスト團體の集會に過ぎないものとなつた、則ち聯盟はユダヤ人やマルクス主義者の陳情受付所或は反ファッシスト團體の集會所と化する事によつて文明世界に於ける普遍的組織としての資格を失つたものである

海軍側判決言渡しは延期
十一月六、七日頃に

〔東京二十日發國通〕世上注目の焦點となつて居る五、一五事件海軍側被告古賀中尉以下十名に對する判決は陸軍側の後を受けて來る二十七、八日頃横須賀軍法會議法廷に於て高須判士長から言渡される筈であつたが、大角海相が陸軍特別大演習陪觀のため福井に赴き引續き舞鶴行幸に扈從し三十一日歸還する關係上公判二十九日も海相歸京後に變更され大体明治節以後の十一月六、七日頃判決言渡しの歴史的公判が開かれることになる模樣である

總選擧に必勝を期す
ナチス政府

〔ベルリン廿日發國通〕來るべき總選擧に必勝を期してゐるドイツ政府は廿日その選擧スローガンを並べた印刷物一千萬部を發行しドイツ全土に配布したが、一方投票用紙にはドイツの男子、ドイツの女子たる諸君は政府の政策を承認するとや否を記入し否應なしにナチスに投票させやうとしてゐる

シャムの反亂鎭壓

〔バンコック二十日發國通〕前後一週間餘に亙るシャムの反亂も反軍の敗退によつて全く平常に歸した二十四日政府當局は公式に左の如く發表した
反軍はシャムの東北山地々方に退却しつつあり今や反亂は僅に一地方に局限されるに至つたが、これも間もなく鎭壓される見込である

殿臣匪歸順で
黨細胞の一部崩潰
ハルピン中國共產黨大恐慌

〔ハルビン廿日發國通〕ハルビンに於ける中國共產黨は來る十一月七日の革命記念日に黨員を上海に派遣し同地の大會に參列せしめ同時に重要協議を遂げんとし準備中であつたが、從來彼等の走狗となつて居た東部線沿線の匪首殿臣が部下全員を擧げて滿洲國に歸順を表明するに至つたため黨の細胞の一部が崩壞し始め大恐慌を來して居る

哈市水源試掘好成績

〔ハルビン二十一日發國通〕ハルビン上水道施設の第一歩として水源探索の作業が特別市公署工務所により去る十一日より開始されたことは既報の如くであるが、インテンダンスキーの第二作業現場は五十二米のボーリングをけつたところ、早くも滾々と地下水が湧き出し、「先づ有望」と技師を欣ばして居る、水質の良否は目下分析試驗中で判明せぬが、湧水量は相當多い、第一第三號作業現場の探索成績も近い中にわかるであらうが、かくてハルビン市民が衛生的な上水に惠まれる日も次第に近づきつつある

黄紹雄氏
視察に入蒙

〔南京廿一日發國通〕蒙古視察を命ぜられた支那內政部長黄紹雄氏は廿一日午後十時南京發津浦線で北上した、北平經由入蒙する筈

關稅改正建議
新京商工會議所から
當局に要望の內容（八）

二四、人絹織物　從價四〇％　三〇％
（理由）滿洲國は古來より絹布を愛用し從て之れが代用品たる人絹織物は最も民衆の嗜好に適し、價格も頗る低廉にして綿布と殆んど異なきに不拘、現在の稅率は贅澤品と同樣に四割五分の高率なる課稅は不合理なり、然して本品は未だ滿洲國內に於ても生產工場なきを以て大衆的に需要ある本品の如きは之れを輕減するを妥當とす
一〇六　亞鉛引板
（イ）波板　擔[illegible]　從價一〇％
（ロ）平板　同[illegible]　同　一〇％
（理由）本品は建築用又は亞鉛板製品に其の使用の途頗る廣く且つ價格低廉なるに現在に於ける稅率は從量稅を採用せるを以て一枚の原價約七十錢に對し二十錢の輸入稅となり之を從價稅とすれば約三割に相當する高率となるを以て從價一割位に低減せしむるを要す
二〇九、鮑
（イ）樽入　擔[illegible]　一割三
（ロ）罐入　同[illegible]　分五厘
（八）其他　同　從價三〇％半
（理由）本品は（イ）（ロ）（ハ）の三種に分類して各稅率を異にし居るも只容器を異にするのみにして、其の品質に於ては何等の差異なきものなるに右の如く大なる差を課稅の上に表はすは不合理にして且つ其の稅率は從價六割の高率なるを以て之を一律に從價一割二分五厘に改正するを至當とす
二三、貝柱　擔[illegible]　從價
二三、乾蟹肉　同[illegible]　一五％
二五、鯣　同[illegible]　從價一五％
（理由）上記三品は貝柱の原價三十五錢に對し稅金十四錢乾蟹肉百匁十六錢位に對し稅金八錢六厘鯣（下者）百匁十五錢の原價に對し六錢八厘なるを以て、四割より五割に相當する高率なり、然して本品の如き料理用食料品として各家庭に於て日常使用せらるるものに對しては從價一割九分位を適當とす
二七、乾魚　擔[illegible]　從價一五％
（理由）本品は價格低廉なるもの多きに不拘現行稅率によれば約三割より四割に至るものあり、然して本品は輸入稅の外に國內稅として漁業保護局に於て百分の七を課稅せられ非常なる高率となるを以てこれら從價一割五分とするを至當とす
二八七、罐詰又は瓶詰の食料品
（ハ）食卓用又は料理用の果實　擔[illegible]　從價一五％
（ニ）こんでんすみるく　同[illegible]　同　％
（理由）（は）の食卓用又は料理用の果實は一律に一擔一五圓の輸入稅にして其の中滿洲人の嗜好に適し最も多量輸入せらるるは「パインアップル」の罐詰にして、主として日本產が多く輸入せらる、然して該品の原價は一箱六圓七十錢位にして之に對し五圓五十錢の輸入稅を課稅せられ約八割となる、又（ニ）「コンデンスミルク」は原價一箱十圓に對し五圓五十錢約五割五分を課せらる本品の如きは贅澤品にあらず保健衛生の爲の食料品なるを以て之を一割五分程度に引下ぐるを至當とす
二九二、「マカロニー」麵類
（イ）大量包裝のもの　擔[illegible]　從價二[illegible]
（ロ）罐詰其の他のもの　從價[illegible]　同　同
（理由）本品中「マカロニー」及麵類を同一率を課稅するも「マカロニー」は輸入少量にして、且つ價格も麵類に比して高し、然るに麵類は其の使用も大衆的にして價格も低廉なるを以て、之に同一の課稅をなすは不合理なるを以て之れを分類して麵類に對しては從價一割二分五厘位を適當とす
二九九、茶
日本茶　從價二〇％　從價一〇％
（理由）二九九の番茶として粉末紅茶は一割なるに日本茶に對しては一割課稅をし紅茶より高率なるは不合理なるを以て紅茶と同樣一割とするを至當とす
三三三、寒天　擔[illegible]
從價一割二分五厘
（理由）本品の輸入は殆んど全部日本品の輸入なるが現在の課稅率は原價に對し約六割の高率にして且つ本品の用途は食料品の原料として用途頗る廣きを以て之れを低減するを適當とす
三五〇－三五六　砂糖類　最二割
（理由）本品は國民生活の必需品にして其の用途頗る廣きを以て現在の如き三割以上の高率の賦課は當を得たるものにあらず仍て最高二割程度にするを適當とす

珠玉を碎く
吉井勇（高根秀浩畫）
新興キネマ上映

（百四十九）
何處へ（三）
英一は女中から手紙を受取ると默つて封筒の面に書かれてある文字の上に目を注いだが、やがてびつくりしたやうに千枝子の方を向いていつた。
「おい、こりやあ大貫の手紙だよ」
「えゝ、大貫……」
千枝子もびつくりしたやうに目を瞠つて、ぢつと英一の持つてゐる手紙の上に目を注いだ。
「たしかにこれは大貫の字だ。あいつは一體何處からこの手紙を寄越したんだらう」
英一はさういつてから不氣味さうに手紙の面に捺された、スタンプの文字を讀まうとしたが、しかしそれは生憎擦れたやうになつてゐて、何うしても讀むことが出來なかつた。
「判らないね。日附けだけは讀めるが、局の名前はまるで擦れて消えてゐる……」
英一は呟く樣にさう言つたが、しかし封を切らうともしないで、唯ぼんやり封筒の字を見詰めてゐた。彼は中にどんなことが書かれてあるか、それを見るのが不氣味でもあれば怖ろしくもあつたが、
千枝子が傍から促すやうに、
「兄さん、兎に角御覽になつたらいゝぢやありませんか」
といつたので、英一はやつと心を決めた樣に封を切つて、中のレターペーパーを引つ張り出した。
それはやゝ黄色味を帶びた紙に、慌たゞしげに走り書をしたもので相變らず大貫の書きさうな、何處か棄て鉢な、厭世的な文句が書かれてあつた。解けきらない謎の影も、仄暗く文字の上に漂つてゐた。
「松本君。
かういつて君を呼びかけるのも、おそらくは今度が最後だらう。無論この世で再び君に會ふ事があるとは思はれない。永遠の別れだ。從つてこの手紙は、君に永遠のわかれを告げるための手紙だ。しかし僕はこの手紙で君との永遠のわかれを、別に惜しんだり悲しんだりするのではないから、君もこんなやくざな氣持にならないで讀んで呉れたまへ。
君はしかしよく僕のために働いて呉れたね。君は僕のために、ある時は役者ともなり、またある時は觀客ともなり、またある時は道具方ともなつて、實によく忠實に働いて呉れたね。この點では僕はどの位君に感謝していゝのだか判らない位だが、しかし君自身では僕のためにそんなに働いたとは思はなかつたらう。が、まあいゝ。兎に角僕はこれからまた飄然と長い旅路に就く。何處へ行くか自分にも判らない旅だ。冷たい運命の手に引つ張られてゆく寂しい旅だ。しかし寂しいけれども僕に取つてはむしろ愉快に樂しい旅だ。
まだ書きたいことは澤山あるが、僕を狙つてゐる黒い影が、身邊に迫つて來たやうだからこれでやめる。
君の健康を祈る」
しかし僕の芝居はもう終つてしまつたのだ。大詰の幕はもう少し見て行きたかつたのだが、僕の身邊に危險が感じられたので、僕は一足早く姿を晦まさなければならなかつた。
心殘りといへばそれだけだが、しかし僕の芝居は大體において成功だつたよ。少くとも成功に近いものだつたよ。それだけは僕もわざわざ日本に歸つて來た甲斐があつたやうな氣がして滿足してゐる。君だつて喜んで呉れるだらう。そしてからうして滿足してゐるんだから。

范家屯區公示第十四號
臨時種痘施行ニ關シ左記ノ通范家屯警察署長ヨリ告示アリタルニ付テハ該當者ハ種痘及檢痘ヲ受ケラルヘシ
昭和八年十月二十二日
新京地方事務所長　南滿洲鐵道株式會社　荒木章

范家屯警察署告示第五號
十月三十日當署管內居住者ニ對シ左記ノ通リ定期種痘ヲ施行ス保護者及義務者ハ指定ノ日時場所ニ於テ種痘ヲ受クヘシ
但シ種痘ヲ經過シタル者ハ此ノ限リニ非ス
昭和八年十月十八日
范家屯警察署

記
一、未タ種痘ヲ受ケサル者生後九十日未滿ノ者ヲ除ク
二、第一期第二期種痘該當者ニシテ種痘ヲ受ケタルモ不善感ナリシ者及第一期第二期種痘該當者ニシテ種痘ヲ受ケサリシ者
三、前各號ノ外種痘後滿五年ヲ經過セル者ハ成ルヘク種痘スルヲ可トス
種痘及檢痘ノ月日並場所
種痘　月日　十月三十日　檢痘　月日　十一月六日　種痘及檢痘場所　滿鐵俱樂部［當署講堂］

譯文
范家屯警察署告示第五號
爲佈告事照得十月三十號照左開各項施行定期種痘保護者及義務者屆期赴指定場所受種痘及檢痘但除生過天花者
昭和八年十月十八日
范家屯警察署
計開
一、未受種痘者但除生後未滿九十日者
二、該當第一期第二期種痘受種痘不善感者及第一期第二期種痘該當者中未受種痘者
三、前各項之外受種痘後經過滿五年者務必要受種痘
（日期與日文同）

米國のソ聯承認問題

兩國の接近は日本への牽制にならぬ
雙方期待する程の事なし　わが官邊の觀測

（東京廿一日發國通）ルーズヴェルト大統領のソ聯邦外交委員長リトヴィノフ渡米招請により茲に米露接近が急速に濃厚となつて來たが、右接近により

「極東」の新事態に齎すべき影響については斯くの如き理由により案外大した事なく米露雙方が期待した程の事はあるまいと我が官邊筋では觀測して居る

一、米露接近が果して今日見られて居る程急速且圓滑に行はれるか如何か甚だ疑問である米國の露西亞承認の前提として米の對露債權（米國政府の分が一億九千二百萬弗米國民間側の分が三億五千萬弗）の解決が絶對的必要で若し之を

「帳消」しにするか露國を米國が承認するに於ては米國が南米に對して投ぜる巨額の貸付けは同時に不斷の革命騒ぎで總て無效になるのだからこの問題を米國としては鵜呑みには行くまい

一、米露の承認により米國は兩國間の貿易が異常に促進されると期待して居るらしいが露西亞は今日以上に米國商品を買ふ餘力を有せずロシアに於ける

「米國」の利權も都合よく進んで居ない又ロシアとしても米國に對し長期クレヂットを設定したりすることは容易に出來ない

一、隨つて右の如き現實に對し米國々務省は案外無智識であるから米露國交恢復後もその效果が諒明した程でないのに兩國が幻滅の悲哀を感ずるに至るであらう

一、極東に於ける日本の立場は米露の接近により何等變更せざるのみか増々自主的

「信念」を固めるのみだからこの點に就ては米國政府も充分認めるだらうしソ聯側も米露接近が結局何等日本への牽制にならぬ事を認識するに至るであらう

米國の不況は
共産國ら嫌惡出來ぬ程逼迫　わが陸軍當局の意見

（東京廿一日發國通）アメリカの露西亞承認に關する陸軍當局の意見は左の如くである

アメリカの經濟不況は今や國情が違ふとか共産主義反對だとか云つて居れず米國資本家は

「對露」借款とか長期クレヂットとか色々の對露經濟發展を考慮して居たが、それにはアメリカ政府の保證が要るため正式國交を開始せんとするもので之に對し露西亞は五ケ年計畫の遂行のため外交關係で強力な友交國を必要とし故に之に應ぜんとする譯である此の交渉が纏まるかどうかは互の氣持が白紙にかへり得るなれば成立しやうがアメリカで舊債償還を條件とすれば纏るまい、而してルーズベルトの意見として兩國間の未

「解決」の儘になつて居る凡ゆる懸案解決につき檢討するためとあるに徵すれば舊債問題も蒸返へされよう、又對日影響は一般には色々取

沙汰されやう

獨逸駐日武官派遣

（東京二十一日發國通）ドイツ政府は世界大戰後駐日武官を派遣しなかつたが今回海軍少佐ウエチユカー氏を派遣することに決定、外務省に通告して來つた

齋藤内閣は始めて國策を
貴族院方面の觀測

（東京二十一日發國通）臨時閣議の申合せにつき貴院の見解は左の通りである

最高指導精神を抽象的に述べたもので一世紀の平和維持を念とし友交國として米露支三國との誤解を一掃し以つて財政との調和を計るべきは勿論である、漠然と軍事費膨脹を提案するは現下の情勢上不可能である、要するに齋藤内閣は始めて國策を持つた譯である

民政黨は贊成

（東京二十一日發國通）民政黨松田幹事長は左の如く語る

五省會議の申合せは東洋平和を維持すると共に世界平和に貢獻するを我が外交の方針となすものでそれと同時に國防技術は平和の保證と見て贊成である

荒木陸相語る

（東京二十一日發國通）荒木陸相語る

會議内容は廣田外相が主に説明し一、二質問が出たが別に反對はなかつた、これに基き具體案や農村問題、社會問題は大演習後研究される筈である

北鐵交渉に變化あるまい
滿洲國は樂觀的態度

米國のソヴエート承認問題は愈よ具體的段階に入り、明年一月の議會開會に先立ち承認を決行するものと觀測せられて居るが、これに對し滿洲國政府當局に於ては

米國のソヴエート承認は當然のことでこれにより滿ソ間の友交關係に何等の影響をうけるものではない、滿洲國の對ソ方針は確立されて居り米國のソヴエート承認により、北鐵滿支交渉に變動を與へるとの見解はとるに足らぬ

となし右ソ聯承認に伴ふ滿ソ關係に關しては樂觀的態度を持して居る

何ら變化なし
滿洲國某要人談

米國のソ聯承認は時期の問題とせられて居るが右に關し滿洲國某要人は左の如く語る

米國のソ聯承認問題はルーズベルト大統領就任以來の懸案であり問題が今日迄延されて居たのは

「米國」が内政問題に多忙を極めて居たためで滿洲國としても此の問題に就いては何等新しい事態に接したとは考へない、然し乍ら愈よ交渉が開始されることになれば米國側としても當然帝政時代借款八億なにがしの解決、米ソ通商問題及び國内赤化宣傳に關する取締り等の提案を爲すであらうし、これ等の問題が解決されて愈よ承認となるまでには相當の迂餘曲折も考へられる然し滿洲國としては此の

「問題」に對し何等既定の態度を變更するものではない、滿ソ外交關係についても別段考へ直す必要もなからう、唯承認問題が解決された曉ソ聯側の態度が幾分強硬になるかも知れぬがこれに對しては滿洲國側としても確固たる決意を以てこれに臨めばよい

青海に移駐を命ぜられた何鍵軍
寧夏に入れず立往生

（天津廿一日發國通）第四路軍長何鍵は青海屯墾督辦に任命され、察哈爾省から平綏線で包頭に行き寧夏に向ふ途中同省主席馬鴻逵の軍隊のために入境を阻止されたので進軍を中止して北平軍事分會と蔣介石に泣付き、政府の斡旋方を請求して部隊を登口、臨河間に集結待命中であつたが馬主席と政府の交渉が都合よく運ばゞ寧夏住民も軍隊の増加に伴ふ負擔の増加に反對運動を起してゐるので政府も無理に何軍を同省に入れられず、結局新疆省に移る外に良策無く、汪精衞は雜文幹に對し意見を徴して居る

我代表部移轉

（ニューデリー廿日發國通）前後約一月に亙つて行はれたシムラ日印會商は結局何等決定を見ず舞臺は國都ニューデリーに移され、商議續行することゝなり、我代表部は廿日より當地への移轉を開始し、その先發は同夜到着した

政局不安一掃
山口政友幹事長語る

（東京廿一日發國通）政友會の山口幹事長は語る

五相會議の醸成した政局不安が申合せの發表により除去されたがその内容は簡單で當然の事を言つてゐるに過ぎないが、政府は今後具體的實行方法につき遺憾なきを期することと信ずる

綿市價の昂騰
緩和に惱む商工省

（東京廿一日發國通）綿絲取引標準品たる二十番手の品不足と市價の昂騰を緩和するため商工省は二十一番手二十二番手を受渡しの代表品として認可したがそれでも緩和の實があがらず關係業者は十六、卅三十二番手を追加する樣陳情したので東京、大阪、名古屋の取引所に研究を命じた、商工省では取引所の申請があれば認可する方針である

支那の定期航空

（東京廿一日國通）陸軍省着電によれば廣東政府は空軍の擴張を續けつゝあるが、又最近ゝ國で香港の空軍飛行學校を設立し、民間操縦員の養成に努めつゝあり、最近に日本金廿四萬圓で開設された西南派航空會社はアメリカより旅客機四機を購入し近く定期航空を開始するとの事である

日滿貿易懇談會
日滿實業家二十名渡日

過般設立を見た東亞産業協會では第一歩事業として日滿貿易の發展を促進する計畫の下に日滿貿易懇談會を日本各地に於て前後四十日間に亙つて開催することとなり、滿洲國實業部、滿鐵、協和會より選拔の日滿實業家二十名が來る二十三日日本へ出發することとなつてゐる

滿洲に於ける諸事業の内容（下）
關東軍特務部　杉本中佐發表

石炭　日滿合辦炭鑛會社を千六百萬圓の資本で創立、統制と同時に炭質による用途も決定することになつてゐる

液体燃料　日滿合辦石油會社を作り資源を開發すると共に、石油購入、原油精油も行ふ、又オイルセール工場を擴張してガソリン化を圖る

代用燃料　ガソリンとアルコールの混合品、アルコールベンゾール、エーテルの混合品等研究中である

火藥　これは專賣制度とし、奉天造幣廠に製造せしめる

度量衡　尺貫法と米突法を併用し

一尺（一米の三分の一）
一里（一粁の二分の一）
一升（一立）
一斤（一瓩の二分の一）
一畝（一アール）

とし、明年一月一日から開始し器具は、新京の滿洲計器股分公司に製作せしめ、檢度局を置いて檢定せしめるその他の細密度量衡器は奉天造兵廠にて製造せしめる

電氣　從來對立して二重投資してゐたので、これを建國電業會社として合併せしめることとなり目下法規法價を愼議中である、サイクルは五十サイクルに統制して内地電氣界を羨しがらせてゐる

道路　十ケ年計劃で六萬粁を作ることになり今年は既に各地共相當長距離の道路を完成地方産業を開發しつゝある

金融　中央銀行の附屬事業を整理して純粹の金融銀行とし、特種金融の貸出しが出來る樣研究されてゐる

特産　目下特産取引の改善法を研究中で、生産者の保護も考へてゐる

關稅　種々研究中

勞働統制　委員會をおいて、中間搾取を排除し、勢力の分配をす可く研究してゐる

東亞産業協會　廿三日出發四十日間の豫定で滿洲市場紹介展覽會日滿、貿易懇談會を開催するが、日滿當局から代表者二十名が出席する

經濟事情案内所　近く經濟地圖を發行するが逐次利用者も多くなり、月百五十名が利用してゐる

特産の出廻り いよ／＼盛況
今年のレコード

一時停滯の狀況であつた奥地の大豆、豆粕、豆油等の特産の輸送が最近著しく激增し本月上旬迄は一日平均三十噸貨車二十車内外であつたが中旬頃より

「急激」なる增加を見せ一日平均四十車乃至五十車で十九日の如きは八十車の多きに達し本年度のレコードで二十日迄の累計三百六十七車これは主として營口輸送で同方面は十一月中旬になれば結氷期に入る爲急に出足が活潑となつたものである、なほ關内持込貨物も最近の堅實的な北滿の特産發送の漸增と相俟つて非常なる增加を來し本月上旬は三千噸内外であつたが中旬は一躍倍數の六千噸に達し、二十日の如きは七千噸を

「突破」する事三百噸にして本年のレコードである、斯の如く漸次活況の一途を辿りつゝある今後の特産の出廻は又素晴しいものがあらう

對外爲替

（東京廿一日發國通）

對米　二十六弗八分の七買　二十七弗四分の一賣
對英　一志二片四分の一賣　一志二片一六分の七賣

地委副議長問題で又もゴテるか
◇得丸氏の去就が第一に注目　來る委員會の宿題

全市民注視の下に行はれた地方委員會議長選擧も去る七日無事終つたが副議長問題については最後までゴタついた揚句、結局前副議長得丸助太郎氏の

「再選」を見るに至つたことは既報の通りである、ところが當の得丸氏は常日の委員會において早速受諾せず「こゝ兩三日考へさせて貰ひたい……」と二週間を經過した今日に至るも未だ各地方委員にさへも正式に一片の通告もなく尤もある同志に對しては非公式に就任の意志を告げたとも云はれてゐるが何にしろ同氏が就任の意志あるか否かは刻下の宿題とされ委員中の強硬派中では早くもこれを問題としてゐる模樣であるその言分は得丸氏自身の意志が奈邊にあらうとも兩三日の考慮を約しながら未だ何らの

「通告」もなく若しこのまゝずるく留任の肚を決めるが如きは明るい政治を要望される今日遺憾なことでこうした去就は明瞭にすべきものである副議長の椅子の如き大して問題でないなどゝ有耶無耶に葬る如き行爲を地方委員自らなす如きは委員會のためにも面白くないといふにあるものゝ如く近く招集される委員會では副議長問題を中心に相當議論の花が咲くものと觀測され得丸氏の一擧一動が極めて注目されてゐる

朝鮮水産物宣傳卽賣開始
愈よ二十四日より四日間　問屋業者と商談

既報、朝鮮水産會及朝鮮各道水産會主催朝鮮水産宣傳卽賣會は去る十五日より五日間新京に於て開催の豫定であつたが荷物の延着其の他の事由に依り延期の止むなきに至つたが其の後續々入荷し會場其の他の諸準備も整ひ愈々二十三日より五日間新京に於て開催することとなつた、卽賣品は鱈、鯛ぐち、鰈太刀、鯖たら、各種鹹辛等の鹽藏品の外、海苔、煎子、昆布、剝蝦等の素乾品、煮乾物、及蟹、トマトサージン等の罐詰、其の他罐詰品等六十餘種に上り何れも相當數量入荷し居り、二十三日は新京及地方官民有志八十名を宮宴樓に招待し水産物の試食會を催し、二十四日より二十七日迄四日間は市内三笠町新京輸入組合内に現品を陳列して各地問屋業者と商談卽賣に應じ、一面二十六日晩は市内日本橋通[illegible]二十七日は長春座に於て朝鮮水産狀況の活動映畫を上映し且觀覽者には、夫々水産物を無代贈呈し大々的に宣傳を試みることになつた

美はしき交驩
日滿地方委員の集ひ

滿人側の新京地方委員招宴は既報の劉兩氏の地方委員宛、二十一日午後六時から宮宴樓で開催、宛、劉兩氏から日滿兩委員の提携を要望した懇ろなる挨拶に對し一同を代表して大原議長兩氏の親善を強調してこれに答へ極めて美はしく且つ有意義に交驩が行はれ八時すぎ散會した

人事往來

▲井上少佐（參謀本部）二十一日午前十一時卅分發公主嶺へ
▲青村中佐（線區司令部）二十一日午後四時卅分發大連へ
▲安達少佐（同）同上
▲山脇大佐（參謀本部）二十一日午後七時卅分來京滿洲屋へ
▲大場關東廳警務局長　二十二日午前七時來京
▲李智眞氏（紅卍字會長）二十二日午前七時來京
▲岡村少將（關東軍參謀副長）二十二日午前九時發公主嶺へ
▲大淵滿鐵理事　二十二日午後三時廿五分哈市より來京
▲吉田鮮鐵局長　同上

團体

▲事頭俱樂部旅行團十三名二十三日午後九時十五分哈市より來京同日午後十時奉天へ
▲京城女子師範生六十三名二十三日午前六時來京二十四日午後四時三十分發南行
▲京城師範三年生八十七名二十三日午後一時三十五分來京二十四日午前十一時三十分奉天へ
▲京城鄰筑商店團四十名二十四日午前六時來京二十五日午前八時四十分發哈市へ二十六日午後九時十五分歸京同日午後十一時發奉天へ
▲福岡縣久留米商業生六十四名二十四日午前六時來京同日午後八時哈市へ二十五日午後九時十分歸京二十六日午前十一時三十分發大連へ
▲福岡縣大牟田商業生七十三名二十四日午前六時來京同日午前十一時三十分南行
▲京城師範科生七十五名二十五日午後五時十五分來京二十六日午前十一時三十分發奉天へ

特産暴落對策に 低資千萬圓を融通
豊作飢饉に惱む農民救濟に 滿洲國の大英斷

滿洲國政府に於ては特産暴落緊急對策の樹立を急ぎ、軍特務部並びに實業財政兩部に於て協議中であつたが愈よ農民救濟策を確立、特産金融資金として中銀を通じ一千萬圓程度の低利資金の貸付を行はしめ、特産倉積奬勵に伴ふ資金融通の圓滑を圖り、農民の資金難による窘急ぎを防止し豫期さるゝ特産商の投機的農村攪亂の余地なからしむる事となつたが、今回の特産低資は本春の春耕資金の九分六厘に比し一分乃至八厘の低利となる筈で稀有の豊作飢饉に惱まされてゐる全滿農民も今回の特産低資融通により塗炭の苦より救はるべく政府當局の大英斷は各方面より好評を博してゐる

特産買上げ 愈よ實現せん
近く大興公司の手で

今年度滿洲特産物の大暴落それに伴ふ農民經濟の不安は次第に深刻化しつゝあるが實業部に於てはこれが應急對策として

一、倉積奬勵と融資
二、輸出税の低減
三、特産運賃の引き下げ

及び恒久策として

一、大豆の食料化及び飼料化
二、燃料化(アルコール製造)
三、大豆耕作面積の縮少、(北滿小麥、南滿棉花栽培奬勵)

をあげ極力これが實現を期しつゝあつたが、中銀の奥地糧棧を倉庫とする金融は、現在春耕資金の貸出回收が不能に陷つてゐる際、到底實現困難で、結局中央銀行實業局が分離獨立した大興公司をして、國家が特産買上げを行ひ價格の吊上げを行ふことになるべく、然し乍ら、大興公司が買上げることになれば

昨年 の例もあつて同公司がウンと承知をするか否か疑問で又特産商でも民業壓迫なりと叫んで、反對するのであらうが、三千四百萬の滿洲人中、八十五%を占むる農民を犠牲にしてまで、一部特産商を保護する必要なしと、當局者間に謂はれてゐる際とて、結局大興公司の買上げが實現するものと見られてゐる

一方實業部の對策に對して財政部に於ても、地域的に出産税の免減を行ふべく、目下關係機關をして、各地の實狀を調査せしめてゐる

一部業者の反對 問題ではあるまい

目下實業部に於て有力意見となりつゝある特産買上げについて、一部特産商は反對意見を持してゐるが、昨年の實業局の買上げは當時、特産物を手持ちせる農民が

『**匪賊**』の關係と、生産地より集散地までの輸送馬車賃が高く、徒に特産物を農民が手持ちしてゐる現狀を見て、中央銀行實業局が其糧棧を利用して高價に買入れ、出廻りを旺盛ならしめ、各集散地に集めて賣却したものであるが、これは民業の壓迫にあらずして有力なる機關による農民保護と、特産物持越しを防止したもので、若し昨年實業局がこの、買付を行はなかつたとしたら、昨年からの特産大豆と今年の農作大豆で、大豆の大洪水となり、今年以上の大『**暴落**』を來すことは明らかで有識者は今更の如く、實業局の買付けの効果をたゝえてゐるが、今年も農民保護のため大興公司のの買上げ實施が農民から切望されてゐる

農業倉庫設置 黒龍江省で

黒龍江省實業廳に於ては、特産暴落對抗策として、農業倉庫を新設、仲買の中間搾取、不公平なる取引の排除、取引欠陷除去、農業生産統制、金融、農事改良を行ふこととなり豫算百九十萬圓で、克山、泰山鎭、拉哈、龍江、綏化、海倫の六ケ所に農業倉庫を新設した

衛生組合創立 愈よ近日實現
小澤氏を組合長に決定し 朝日通管内懇談會

去る十三日朝日通り派出所管内町民有志發起となり衛生思想普及其の他に關し懇談會を曙町大正寺で行つたことは既報の通りであるが、二十一日午後七時三十分から再び大正寺に左記諸氏集合して衛生『**組合**』創立準備委員會を開催した

第一班　田中正一、中野常次郎、中村正行、堤
第二班　畑瀬友喜、大原、木名瀬、田代
第三班　伊東正夫、船越喜代次
第四班　是安修一、風柳竹次郎、辻田信衛、鈴木留吉
第五班　久松庄左衛門、宮本信七、小田斌、海野俊厳
第六班　細川耕之助、小澤禎吉郎、竹下孝、沼田勇、黒田實
第七班　十河
第八班　ナシ

やがて第五區長小澤禎吉郎氏司會者となり取敢へず組合長の選擧をなした結果は小澤氏九票、沼田氏七票、船越氏一票で小澤氏組合長と決定、續いて副組合長二名の『**選擧**』を行つた結果は沼田氏十四票、伊東氏七票、船越氏七票、同點の伊東、船越兩氏は協議の結果再投票となり船越氏九票、伊東氏七票で結局沼田、船越の兩氏が副組合長と決定したが志願で協議の結果後日創立總會を開くこととなり、組合規約草案の再審議をなし組合規約を決定し各班の委員決定のため詮衡することとして來る二十五日までに各班につき五名の委員を定めその委員中から班長一名を互選しその結果を『**各班**』から二十五日までに組合長あるひは副組合長に報告することにして十一時閉會した當夜は朝日通出所長谷川巡査外一名の列席があつた、なほ可及的速かに創立總會を開きその際多數の組合員の參會を得て衛生思想に關する映畫警察署長の衛生に關する講演等をなすはず

郵便局窓口や 新京驛を荒す
滿人の掏摸捕はる

新京驛構内並に新京郵便局内でスリ盗難が頻々として續出し新京署司法係では血眼となり犯人逮捕に大活動を續け刑事隊を驛『**構内**』に張り込ましてゐたところ二十一日午後九時ごろ同署中谷呂刑事が擧動不審の滿人を發見し行動を監視中件の男は構内を出て吉野町二丁目六番地先に差懸るや一滿人に寄かゝり巧みに洋服ポケットから懐中を掏取り逃走せんとするを逮捕し取調べると吉林省生れ城内東四道街劉宴(二四)といひ此奴は本年四月以來驛構内郵便局窓口を根城にかまへ乘降客の手荷物を巧みに窃取してゐたものである、家宅捜査の『**結果**』旅行用トランク並に蟇口が多數發見され同署司法室に蟇口の山を築き現在自白したものが卅余件に達してゐる

四洮線の匪賊
我守備隊出發

〔四平街〕二十日夜四洮線曲家店北方約十滿里の地點に匪首青雲好の率ゆる約百名の騎馬匪出現何れも長拳銃を所持し暴威を振ひ居るを坪花子山屯の防隊が出動撃破したるも尚ほ曲家店北方約五滿里の地點に蟠居中なりとの報に依り四平街守備隊坂尾中尉以下〇〇名は二十一日早朝臨時列車にてこれが討伐に出動した

脱獄犯人の 強か者に御用
中谷刑事の快腕

去る端午節句(舊五月五日)新京第二監獄囚人は一擧に監獄を破壊し看守一名を射殺し一名に重傷を負し喚聲揚げ『**雪崩**』を打つて逃走した内强盗犯人山東省生れ住所不定馮壽亭(三三)は巧みに警戒線を突破し逃走してゐたが二十一日午後九時ごろ附屬地平康里全樂堂に登樓せるを發見した新京署中谷呂刑事が發見大格闘の末逮捕した犯人は昨年十二月から本年二月二日迄に拳銃を所持し附屬地内五ケ所を荒してゐるうち新京署員に逮捕され二月廿二日滿洲國に『**送致**』され第二監獄に收監中脱獄逃走した強か者である

初めての野球放送 却々の上出來
これからおいおいやる積りと 加藤局長も大歡び

新京放送局では初めての企てとして係員一同は成果を氣遣ひ、又新京市民には待望されてゐた早慶野球戰實況放送は期待を裏切らず上々の出來であつた、たほ二十二日も前日同樣中繼放送がなされるはず放送局長室で加藤局長は左の如く語つた

東京からの中繼放送は夜間はこれまで毎晩やつてゐるが晝間の中繼としては最初の試みでした、普通の波長では甘く行かぬから短波長を利用するのです、結果から見て晝間の中繼放送としては先ず萬點と言ひ得やう今後も少くとも早慶戰位は中繼放送をやる積りです、今度も聽取者方々のお方からの激勵のお電話をいただき感謝してゐます

四平街 洋車一齊檢査

四平街署では二十日午前九時より本署前に於て現在營業中の百二十一台の洋車に對し一齊に嚴重なる檢査を行つたが未檢車四台、再檢査十六台あつたが概して成績良好で午後三時終了した

圖書館員講習

來る廿四日から廿八日に至る五日間大連滿鐵社員倶樂部に於て開催される短期圖書館員講習會に當圖書館からは平田圖書館員が出席する筈である

▲高砂町四丁目二番地佐藤喜兵衛氏長男宴純さん十九日午後一時死去
▲寛城子游動警察隊員山崎千代松氏長男茂郎さん十三日出生
▲入船町三丁目二十一番地江口宮治氏四男俊雄さん十一日出生

赤本全部押收
北鐵圖書館に手入

〔ハルビン廿一日發國通〕北鐵中央圖書館は豫ねてより赤化宣傳並びに反滿抗日に關する書籍多數を藏してゐるとの風聞があつたが之が探査の歩を進めつゝあつた北鐵路警處は十八日一齊に書庫の手入れをなし、一部書籍を押收し、尚ほ殘留する赤化宣傳書の四散を防止する爲途に閉鎖を命じ、檢査續行中

"この雨は" 酷寒の前觸れ
皆さん御用心なさい 今夜あたりからグット 寒くなりますよ

水銀は刻一刻と下る、愈よ眞冬への行進曲……滿洲特有の酷寒は大手を擴げて待ちわびてゐる二十二日午前二時ごろから例年に珍らしく新京を中心に近郊一帶に雨をもたらし氣温は急激に低下し酷寒への導火線をなした、昨夜來の最低氣温は三度一分でぐんぐん下つてゐる、新京觀測所の打診によると、この雨は寒さへの導きであり止み次第に寒さを増し本格的の冬へ入るものである、今夜はぐつと氣温が下るため一般家庭では特に注意をする必要があると

街の日記
太陽ホテル 近く竣工 永樂町一丁目に 堂々たる構へ

大連より進出し市内永樂町一丁目に建築中の太陽ホテルは晝夜兼行で其の完成を急ぎ既に九分通り竣工來る十一月十五日開業の豫定であるが同ホテルは四階建々坪六百二十坪各階中央に大階段を設け高さ七十尺に大展望台ありて眺望よく多個所で工費十七萬圓小泉專治氏經營であるが開業の上は市内旅館の缺陷が緩和せらるる

新京高女 臨時考査が近く始まる

ここであらう

新京高等女學校では來る二十六日から三日間臨時考査を行ふ、いよいよ秋の深まり行くにつれて各學校では臨時考査臨時試驗比較考査學期試驗等々で生徒兒童達が苦しめられる明日も迫つて來たわけである

朝鮮水産物即賣會試食會

朝鮮水産會並に鮮内各道水産會共同主催の水産物宣傳即賣會が新京で開催されるが之に先立ち即賣品の試食會を二十三日午後五時から富宴樓で開催する旨來京中の朝鮮水産會副會長吉田雅一氏から新京の各界に向け招待狀が發せられた

稲井水産會主事 挨拶に來社

朝鮮水産會主事稲井秀左衛門氏は朝鮮水産物宣傳即賣會開催の準備先發として來京二十二日挨拶に來社

消費組合で 毛皮賣出し

滿鐵消費組合新京支部では、二十三日から二日間毛皮賣出しと冬呉服巡回分配を行ふ

居住消息

▲榎本留次郎氏(栃木縣人電氣會社員)安東から高砂町四丁目二番地へ
▲福岡寅氏(愛知縣人司令部筆生)關東軍司令部官舍へ
▲江頭正氏(福岡縣人)日出町一丁目八番地
▲姫木靜雄氏(鹿兒島縣人請負業)四平街から羽衣町二丁目二番地へ
▲三宅精一氏(靜岡縣人滿洲修養團總務主事)大連から羽衣町一丁目六番地同團事務所へ
▲鳥越朝夫氏(岡山縣人警官)旅順から曙町一丁目二番地ノ十九へ
▲伊藤臺氏(山形縣人郵便課長)大連から平安町官舍へ
▲出原師男氏(福山縣人警官)奉天から中央通の大番地へ

轉居

▲眞住文男氏大和通り六十四ノ二番から北安路八百十六番地へ
▲佐藤一郎氏東二條通り二十六番地から敦化東門外へ

讀者の聲
不快な流行 (公償生投)

近來あちらこちらで、電話係に女事務員使用の向が増した味もそつけない事務的な呼出方をする、呼出された本人が出ると「一寸待つて下さい」と暫く待した上で御本人が出てきておもむろに話をする仕掛けになる方はそれで能率の増進かも知れないが呼出されて待つ方の馬鹿らしさ、時間の無駄は申すまでもなく不快なことこの上もない、代人を使つて人をお話口に呼び出して待たせる非禮さ、何とか改めたいものです

陸軍特別大演習
御統裁の 大元帥陛下
愈よけふ御發輦

〔東京二十一日發國通〕大元帥陛下には來る二十四日福井縣下に於て擧行される陸軍特別大演習を親しく御統裁あらせられる爲め愈よ二十二日宮城御發輦午前八時御召列車で西下、途中京都御所に御一泊、二十三日大本營福井縣廳に入らせられる事となつた

大演習の 役員決定

〔東京二十一日發國通〕陸軍特別大演習の役員左の如く決定した

北軍審判長　陸軍大學校々長　陸軍中將　廣瀬猛
南軍審判長　參謀本部第一部長　陸軍中將　古莊幹郎
戰地審判長　參謀本部付　陸軍中將　佐藤三郎
觀兵式諸兵指揮官　第九師團長　陸軍中將　荒蒔義勝

慶安異聞 艶魔地獄

玉水三郎 (舞臺上演 映畫化)

(畫) 長谷川小信

(七十二)

井関の邸 (三)

或る日松平紋太郎が、ブラリと青山主膳の邸へ訪ねて來た。用人下役は豫て知る仲の事であるから、

『コレは松平様、好い所へお越し下さいました。相川忠太夫が亡き後は、手前共に困つて居りますので、殿様お出でを幸ひ、一つお願ひがございます』

と、奥の間の室へ案内を出して、直ぐ奥へ取次がうとしない。

紋太郎も取敢ず、其席に着くと直ぐに、

『イヤ當家にも、何か様々な事があつて、青山主膳も自棄酒を呷つて居るとの事、今日は實は其慰めに參つたのであるが、マア一應は聞かう。何ういふ事であるかな』

『御承知で居りつしやいませう。唐犬権兵衛と申す町奴の爲に、公用人相川忠太夫の横死を……』

『さア聞いては居るが、あれは嫌いな主膳の方が……だが對手は町奴だ。理が非でも復讐をせにやならん。旗本といふ身分を思ふから、それが成らんのだが、主膳や其方は何う思つて居るな』

『へイ、私はお出入りの武藝者を以て、唐犬方へ斬り込ませ、一家鏖殺にしやうと、殿様が仰しやるので、御諫言を申上げましたものゝ、外に手段がございません。早晩そんな事より外、仕方はございますまい』

『フーム、其處おやナ。若し斬り込ませるとなると、當方にも死人手負ひは出ると見ねばならぬ。上役人取調べに際して、青山主膳の睨みを受けた、吾々は青山家出入りの者であると、名乘られるとやつぱり同罪である。若年寄などが喧しいから。江戸の町ッ中の淺草新鳥越の唐犬方へ斬り込むといふ騒動は……』

『さア手前も、それを承知して居りまする』

『可し〳〵、心配するな。實は予にも一つ考へた事がある。爺に主膳へ申し聞かせ、若し同意したらば、予も亦後見となつて見やう』

『有難い事で、何うか何分宜しく願ひます。此頃は例の古井筒に毎夜不思議な怪異が起りまして、奉公人一同も不安で、一晩も成り難ます有様』

『オヽ其事も聞かんではない。右も左主膳に會はう』

遠慮のない仲だから、ズン〳〵奥の室へ通ると、眠元の梅野を始め、女中三四人と若黨中間、それに厩馬丁までが、主膳の居室の隣の外にズラリ坐つてゐる。

『オヽ青山無沙汰をした』

『イヤ松平か、さア此方へ通れ、今少し取込みがあつての……コレ梅野、其方から一同へ申聞かして今日の所は引取れ。追つて沙汰に及ぶであらうから』

梅野は常になく、柳眉を逆立て、主人を恐れぬ容子。

『御前様、お言葉ではございますが、昨日も追て沙汰に及ぶと仰せられまして、ツイ其儘になつたではございませんか、今日は何うあつても、一同お暇を頂きたいのでございます』

驍勇の主膳も、酒の元氣で追拂ふ事ならず、默つてゐる。

松平紋太郎は見兼ねて、

『コレ〳〵一同の者、唯今用人下役から、少々聞き込んだこともある。兎も角唯今は部屋へ引取れ。松平紋太郎悪き様には計らはぬ。暇が取たくば予が取つてやる』

若くも旗本の一人が、仲に立つて口を利くのだから、一同は顔を見合はせて、納得した容子。

梅野は切り口上で、

『左様なら殿様、お任せ申しますから、今日中にお暇の取れるやうに願ひます』

一同は慎惚の體で引下がつた。

月曜 十月二十三日 舊九月五日 壬戌 先勝 建 心宿

●一白の人 我意を行ひ才力を思はず輕進して事成らず 丙さ庚さ癸が吉
●二黒の人 平穏の中にも根氣強くせざれば物事調はず 甲さ乙さ寅が吉
●三碧の人 蹉跌多きも識者の力を藉りて展開するを得 庚さ壬さ癸が吉
●四緑の人 心緩かに圓滿を旨さすれば良好に向ふべし 庚さ亥さ癸が吉
●五黄の人 萬事堅實なる時は有利に向上を來たすべし 卯さ乙さ亥が吉
●六白の人 外形を齊ふるも内實の虚なるが如き不安日 庚さ辛さ寅が吉
●七赤の人 物事後戻りを早し易し堅實に進めば望成る 乙さ申さ辛が吉
●八白の人 目上の引立あり意外の出世を見るべき吉日 卯さ乙さ寅が吉
●九紫の人 努力を發す程利益の生じ來る日金談調はず 丙さ壬さ癸が吉

大阪商船出帆

門司、神戸(大阪)行
×印三等船客設備船
(午前十時大連出帆)

たこま丸 十月廿四日
香港丸 十月廿五日
うすりい丸 十月廿七日
ばいかる丸 十月廿九日
×しあとる丸 十月三十日
亞米利加丸 十月卅一日
うらる丸 十一月一日
はるびん丸 十一月三日

●切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ヂャパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符(往復切符八割引、汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月)
大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符八復路運賃一割引通用期間三ケ月)

◎專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社 大連支店
電話四一三七
奉天出張所電話四〇八九
新京出張所電話二二一六